

# アルミの良さと樹脂の良さを融合した「ハイブリッド窓」 樹脂複合サッシ

住まいの「断熱」を考えるには、家の中で最も熱の出入りが多い「窓」の断熱性能を高めることが、快適で健康な暮らしを実現するためのポイントとなります。  
ケントホームズの標準サッシは熱伝導率の低い樹脂と複層遮熱ガラスを組み合わせることで、一般的なアルミサッシと比べて約3倍の高い断熱効果を実現しました。



アルミと樹脂のハイブリッド構造で、断熱性能が大きく向上。

〔一般複層ガラス〕

熱貫流率  
**3.49**  
W/(㎡・K)  
以下相当

〔Low-E複層ガラス〕

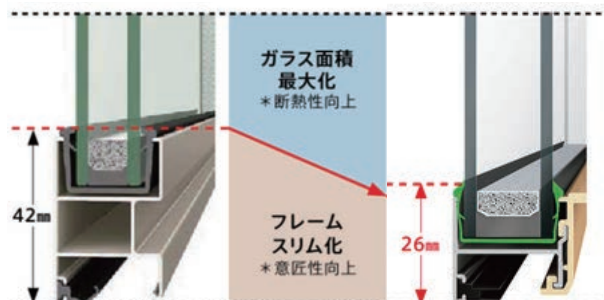
熱貫流率  
**2.33**  
W/(㎡・K)  
以下相当



※平成25年省エネルギー基準  
建具とガラスの組み合わせによる開口部の熱貫流率(一般複層ガラス/Low-E複層ガラス(空気層10mm以上))

従来品アルミサッシ

樹脂複合サッシ



フレームをスリム化し、ガラス面積最大化

窓の断熱性能を高めるためには、熱を通しやすいフレームを小さくし、ガラス面を大きくする必要があります。ケントホームズ標準サッシではアンカー式グレチャンを採用することで、フレームの極小化とガラス面積の最大化により優れた断熱性能を実現しています。※LIXIL樹脂複合サッシの場合

それぞれの課題を克服しそれぞれの良さを融合したハイブリッド窓

日本の窓のフレームは大きく分けて「アルミ」と「樹脂」の2種類あります。ケントホームズ標準ハイブリッドサッシは地域の気候に合わせて、室外側には耐久性に強く、意匠性、採光性に長けたアルミを、室内側に断熱性、防露性に長けた樹脂を使用したハイブリッド窓を標準採用しております。

Hybrid

アルミ

耐久性：○  
意匠性：○  
採光性：○  
断熱性：△  
防露性：△

+

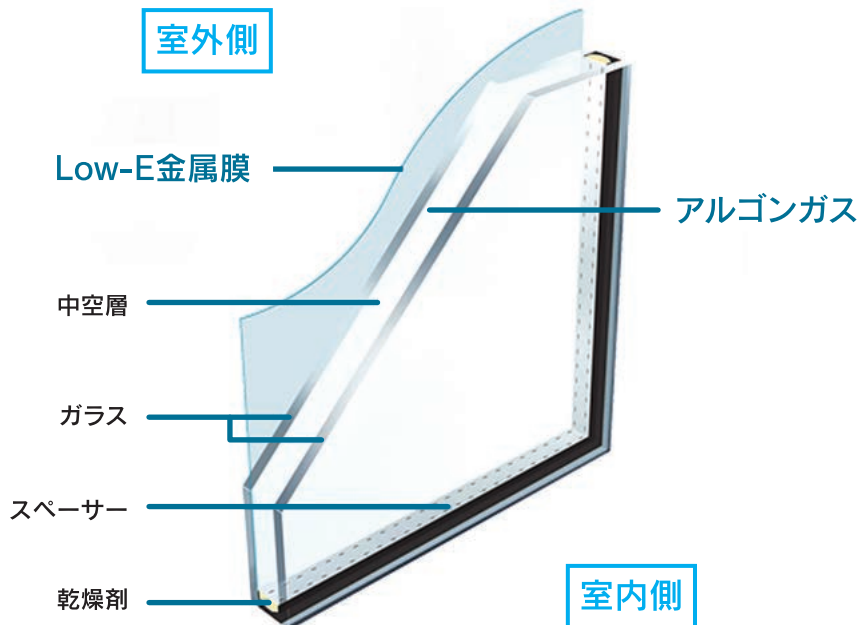
樹脂

耐久性：△  
意匠性：△  
採光性：△  
断熱性：○  
防露性：○

アルミの良さと樹脂の良さを融合  
ハイブリッド窓

## 夏も冬も一番熱の出入りが大きいのは窓なのです。

- ☀️ 遮熱
- 🏠 高断熱
- 💧 高防露
- 💡 UVカット

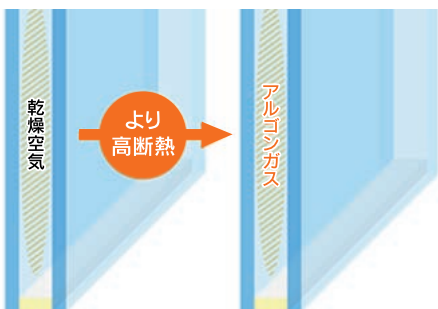


## 窓の性能が快適性に繋がります

夏は陽射しによって暖められた熱い空気の70%近くが窓から室内に入ってきます。窓の遮熱性、断熱性を高めるとその熱い空気を伝えにくくするため、室内の温度上昇を抑えることができます。冬は家の中であたためた空気の50%近くが窓から逃げてしまいます。窓の断熱性を高めると室内で暖めた空気を逃がしやすくするため、室内の温度低下を抑えることができます。このように窓の断熱性能を高めると夏も冬も少ないエネルギーで保冷保温効果が生まれ快適にすごすこともできます。



## アルゴンガス入りで断熱効果抜群



さらにケントホームズではガラスに「アルゴンガス入りLow-Eペアガラス」を使用。Low-Eペアガラスは通常のペアガラスと違い、特殊な金属膜「Low-E金属膜」をガラスにコーティングすることで太陽熱の侵入を防ぐことができます。また西日や紫外線による色あせにも効果的です。さらに二枚のガラスの間には空気よりも熱伝導率が低いガス「アルゴンガス」を使用。サッシだけでなく窓ガラスでも太陽の日射熱を50%以上カットし、夏は涼しく冬は暖房熱を外に逃がしません。

## エアコン効率を高めて、暖冷房費を削減

優れた断熱性能で暖房時の熱の流出、冷房時の熱の侵入を抑制し、冷暖房の効率を高めることで、光熱費を従来アルミサッシの窓と比べると約18パーセント削減します。

